

平成28年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典 (4案件：学校及び病棟建設)

2016年11月25日（金）、平成28年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件4件に関する署名式典を当館多目的ホールにて執り行いました。同署名式では、堀之内秀久大使と被供与団体4団体（カンボジア子どもと発展のための機構、バットアンバン州教育・青少年・スポーツ局、プレイベーン州教育・青少年・スポーツ局、コンポンスプー州プノン・スロイ保健行政区）の各代表が贈与契約書に署名を行いました。

カンボジア子どもと発展のための機構が実施する案件では、ポーサット州ヴィール・ヴェーン郡チュウティアルチュロム小学校に新校舎1棟4室、トイレ1棟2室を建設し、机・椅子等の学習用機材と雨水タンクを整備します。これによって、220名以上の児童が安全面・衛生面共に整った教育環境で学習できるようになることが期待されています。



バットアンバン州教育・青少年・スポーツ局が実施する案件では、同州バベル郡ベン・スノウル小学校に新校舎1棟6室、トイレ1棟4室、水タンク1基を建設し、あわせて机・椅子等の学習用機材も整備します。同校の230名以上の児童の学習環境が向上することが期待されています。

プレイベーン州教育・青少年・スポーツ局が実施する案件では、同州バ・プノン郡クレヤン小学校に新校舎1棟5室、トイレ1棟4室を建設し、机・椅子等の学習用機材を整備します。これにより、同校の610名以上の児童が安全面・衛生面共に整った教育環境で学習できるようになることが期待されています。





コンポンスプー州プノン・スロイ保健行政区が実施する案件では、同州トラピエン・クロランレファラル病院に産婦人科病棟を建設します。これにより、同病院産婦人科を利用する約7,200名の住民に、より質の高い充実した公的医療サービスが提供されることが期待されています。

式典では、堀之内大使がスピーチを行い、今回整備される学校校舎や病棟について、被供与団体によって適切に管理されることを望んでいる旨述べ、今回の支援がカンボジアの草の根レベルの人々に直接役立ち、日本とカンボジアの更なる友好促進につながることを願うと結びました。続いて、各被供与団体の代表が、日本国民及び政府への感謝の意を表明するとともに、今回の事業によって整備及び供与される施設や機材を適切に維持していくことを約束しました。